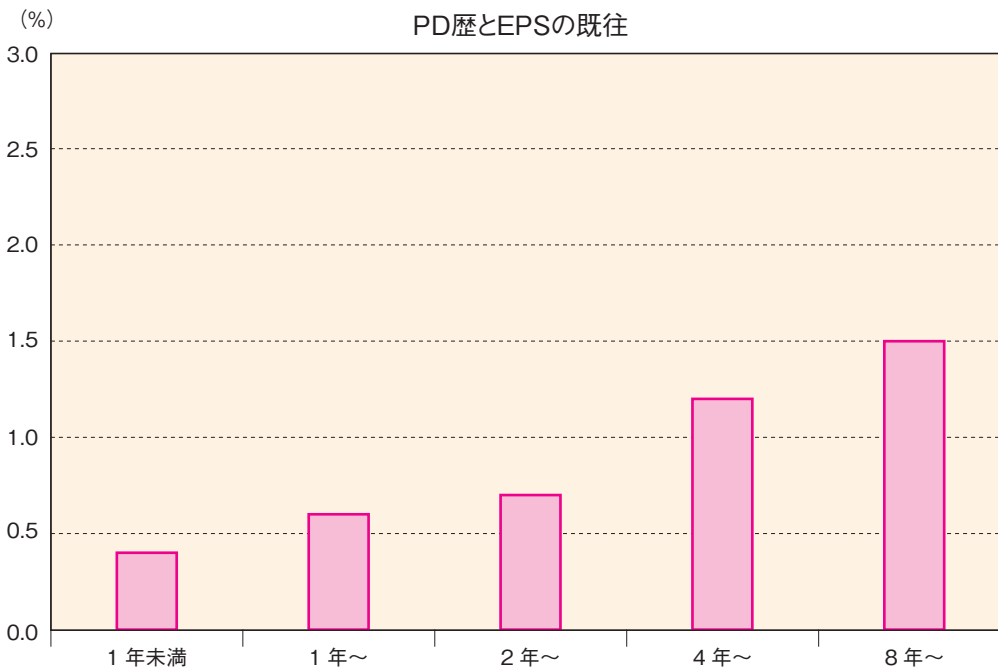


3) 腹膜透析調査

(7) 被嚢性腹膜硬化症 (EPS) の既往 (図表43)

EPSの既往	なし	あり (剥離手術既往あり、ステロイド使用歴あり)	あり (剥離手術既往あり、ステロイド使用歴なし)	あり (剥離手術既往なし、ステロイド使用歴あり)	あり (剥離手術既往なし、ステロイド使用歴なし)	合計	不明	記載なし	総計
患者数	12,321	552	29	84	54	13,040	267	3,895	17,202
(%)	(94.5)	(4.2)	(0.2)	(0.6)	(0.4)	(100.0)			



EPSの既往	1年未満	1年～	2年～	4年～	8年～	合計	記載なし	総計
なし	1,085	1,028	1,220	1,121	420	4,874	7,447	12,321
(%)	(99.6)	(99.4)	(99.3)	(98.9)	(98.6)	(99.2)		
あり (剥離手術既往あり、ステロイド使用歴あり)	4	6	6	4	3	23	529	552
(%)	(0.4)	(0.6)	(0.5)	(0.4)	(0.7)	(0.5)		
あり (剥離手術既往あり、ステロイド使用歴なし)	0	0	0	0	0	0	29	29
(%)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)		
あり (剥離手術既往なし、ステロイド使用歴あり)	0	0	3	6	2	11	73	84
(%)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.5)	(0.5)	(0.2)		
あり (剥離手術既往なし、ステロイド使用歴なし)	0	0	0	3	1	4	50	54
(%)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(0.3)	(0.1)		
合計	1,089	1,034	1,229	1,134	426	4,912	8,128	13,040
(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)		
不明	7	14	7	16	10	54	213	267
記載なし	127	119	156	150	58	610	3,285	3,895
総計	1,223	1,167	1,392	1,300	494	5,576	11,626	17,202

集計対象：腹膜透析経験あり患者

解説

被嚢性腹膜硬化症 (EPS) に関する調査は全透析患者を対象に行った。PDの経験があり、EPSの既往について回答があった13,040名において、719名 (5.5%) にEPSの既往が認められた。EPSの既往を有する患者のうち581名 (80.8%) で剥離手術の既往が認められた。

PD歴とEPSの既往については4,912名から回答が得られ、EPSの既往はPD歴1年未満で0.4%、1年～2年未満で0.6%、2年～4年未満で0.7%と低値で留まるのに対し、4年～8年未満で1.1%、8年～では1.4%とPD歴が長くなるにつれて増加を認めた。